

製品名: 切断ノッチ 4 (V1432) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab09022

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	NOTCH4
別名	NOTCH4; INT3; Neurogenic locus notch homolog protein 4; Notch 4; hNotch4
遺伝子 ID	4855.0
SwissProt ID	Q99466
免疫原	抗血清はヒト NOTCH4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1401-1450

背景

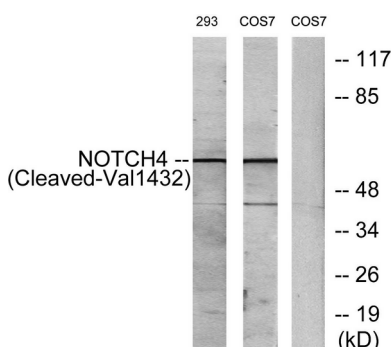
notch 4(NOTCH4) Homo sapiens この遺伝子は、NOTCH ファミリーのタンパク質のメンバーをコードしています。この I 型膜貫通タンパク質ファミリーのメンバーは、複数の上皮成長因子様 (EGF) リピートからなる細胞外ドメイン、および複数の異なるドメイン

タイプからなる細胞内ドメインなどの構造特性を共有しています。Notchシグナル伝達は、Notchファミリー受容体に対応するリガンドに結合することで、物理的に隣接する細胞間の相互作用を制御する、進化的に保存された細胞間シグナル伝達経路です。コードされているプレプロタンパク質は、トランスゴルジ体ネットワークでタンパク質分解処理されて2つのポリペプチド鎖が生成され、これがヘテロ二量体となって成熟した細胞表面受容体を形成します。この受容体は、血管、腎臓および肝臓の発達に役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の変異は、統合失調症に関連している可能性があります。選択的スプライシングは複数の転写産物バリエーションを生じ、そのうち少なくとも1つは代替産物である。機能: 膜結合型リガンド Jagged1、Jagged2、および Delta1 の受容体として機能し、細胞運命決定を制御する。放出されたノッチ細胞内ドメイン (NICD) を介してリガンドが活性化されると、RBP-Jk と転写活性化因子複合体を形成し、スプリット遺伝子座のエンハンサー遺伝子を活性化する。分化、増殖、およびアポトーシス誘導プログラムの実行に影響を与える。発達中の血管系における分岐形態形成を制御する可能性がある。多型性: NOTCH4 のポリロイシン領域 (シグナルペプチド内) は多型性があり、ロイシンの数は集団内で変化する (6~12)。PTM: リン酸化されている。PTM: 小胞体で不活性型として合成され、細胞膜に到達する前にトランスゴルジ体ネットワークのフリリン様転換酵素によってタンパク質分解的に切断され、活性型 (リガンドがアクセス可能な型) となる。切断の結果、C末端フラグメント N(TM) と N末端フラグメント N(EC)が生じる。リガンド結合後、TNF- α 変換酵素 (TACE) によって切断され、ノッチ細胞外切断 (NEXT) と呼ばれる膜結合中間フラグメントが生じる。この断片はその後、プレセニリン依存性ガンマセクレターゼによって切断され、細胞内ドメインを含むノッチ由来ペプチド (NICD) が膜から放出されます。類似性: NOTCHファミリーに属します。類似性: 28 個の EGF 様ドメインが含まれます。類似性: 3 個の LNR (Lin/Notch) リピートが含まれます。類似性: 5 個の ANK リピートが含まれます。細胞内位置: タンパク質分解処理の後、NICD は核に移行します。サブユニット: C末端断片 N(TM) と N末端断片 N(EC) のヘテロ二量体で、おそらくジスルフィド結合によって連結されています (類似性による)。NOTCH4 の転写共活性化因子として作用する MAML1、MAML2、および MAML3 と相互作用する。組織特異性: 心臓で高発現、肺および胎盤で中等度の発現、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓、脾臓、リンパ節、胸腺、骨髄、胎児肝臓で低レベルの発現が認められる。成人脳および末梢白血球では発現は認められなかった。

研究分野

背腹軸形成; ノッチ;

画像データ



エトポシド 25 μ M で 1 時間処理した 293 細胞および COS7 細胞のライセートを、NOTCH4 (Cleaved-Val1432) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンには合成ペプチドでブロッキングした。

Cleaved-Notch 4 (V1432) ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた A549 NIH-3T3 SH-SY5Y K562 HELA 細胞のウェスタンブロット解析

